

# 平成 28 年度 事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日)

## 平成 28 年度の概況

平成 28 年度につきましては、新しい事業である総合事業「通所サービス A・サンシャインクラブ」を 8 月より開設いたしました。地区の皆様方からのご協力をいただき、多くの方々からご利用いただいています。山形市内で開設した施設の中では、一番多い利用者数になっています。

ご利用者様に生活をより楽しんでいただけるようにと企画いたしました、「生け花教室」「書道教室」「体操教室」「映画観賞」「マグロ解体ショー」は大変喜ばれており、今では生活の中の楽しみの一部になりました。

今回で 5 回目となった「喀たん吸引等研修」は外部の受講生 16 名、施設職員 7 名に修了証明書をお渡しいたしました。5 年間の認可期間で合計 113 名の卒業生を輩出し、県内で活躍していただいております。

施設整備につきましては、既存施設のトイレ改修、窓サッシ交換、クロス張替、LED 電気工事を実施し、ご利用者様より「明るくなった、トイレもきれいで使いやすくなった」との声を頂戴しております。

開所当時から利用していたベット・マットレスの交換を行い、ご利用者様により快適な生活を送っていただいております。

サービス適正化委員会より苦情をいただいたことをきっかけに、看護師が全体の指揮統括をするよう、特別養護老人ホームの組織を改編し、「事故・疾病の予防」「契約者への情報公開」等、介護職員への指導を行いました。その結果として、病院に入院するご利用者様の数が減るなどの効果がありました。

## 各事業部門報告

( )は前年度数値

### (1) 特別養護老人ホーム

原則要介護度 3 以上の入所となり、外出行事など難しくなっているため、施設内で楽しめるアクティビティをもうけました。特に昔、流行した映画は、自分の若い頃と重ね合わせて鑑賞されている様子がかがえました。

サービス適正委員会から寄せられた苦情に対し真摯に受け止め、8月29日に家族懇談会を開催し39名の参加のもと、現状、対策、介護サービスの質の向上に務めることを話しあいました。

内訳は利用者定員 80 人に対し、平均利用率 97.8%(96.7%)、平均要介護度 3.6(3.7)、平均年齢 86.3 歳(86.7 歳)、入退所の状況は年間 22 人(34 人)、うち要介護度 1,2 の特例入所 0 人(4 人)となっています。看取り介護 7 人実施いたしました。

### (2) 百花のいえ

開所して 6 年が経過し、平均年齢も高くなりましたが、外出行事を楽しみながら生活しております。毎年実施される全国老人クラブ主催の輪投げ大会に参加し、超高齢の 99 歳のご利用者が参加しマスコミからとりあげていただき、テレビでニュースに映る姿をみて皆で楽しんでおります。

内訳は利用者定員 20 人に対し、平均利用率 99%(95.8%)、平均要介護度 3.7(3.7)、平均年齢 90.5 歳(88.9 歳)、入退所の状況は年間 4 人(4 人)となっています。

### (3) ショートステイセンター

居室料金が安価な多床室が 18 床あることから常時満床状態が続き、「なかなか予約がとれなくて困っている」と地域の方々より声を頂戴しております。

高齢世帯が多くなっており、治療の必要ない要介護者の看取りをする場所の確保問題に直面し、ショートステイでの看取りを実施いたしました。

年間利用延人数は要介護者が 7,711 人(7,936 人)、要支援者が 681 人(990 人)、合計 8,392 人(8,926 人)で利用率 115%(121.9%)でした。

### (4) デイサービスセンター

ご利用される方が、楽しく、明るく、元気になれるようにと、体操やレクリエーションを通して、在宅生活が継続できる取り組みをしております。

年間利用延人数は、一般型の要介護者が 5,233 人(5,175 人)、要支援者が 888 人(1,734 人)、総合事業が 1,394 人(16 人)、合計 7,515 人(6,928 人)で利用率 84%(77%)でした。

物忘れ型の要介護者が 985 人(1,703 人)で、要支援者が 100 人(0 人)、合計 1,085 人(1,703 人)で利用率 35%(55%)でした。

サンシャインクラブの年間利用延人数は、522人（利用契約数34人）で、一般型、物忘れ型、サンシャインクラブの総合計で利用率66.1%でした。

#### （5） 居宅介護支援センター

3人の介護支援専門員を配置し医療と福祉の架け橋となり、ご利用者の立場に立って、日常生活が前向きに送れるように支援のお手伝いをしてきました。毎月第2水曜日のサン茶インも好評となり、年間93人の方と情報交換を行いました。

年間ケアプラン件数合計1,170件(1,000件)でした。

#### （6） シルバーハウジング

山形市から委託を受け、山形市大森住宅シルバーハウジング（高齢者世話付住宅）に居住する高齢者に対し生活援助員を派遣し、安否確認、生活相談、緊急時の対応等のサービスを提供しました。また、地域包括支援センターや山形市介護福祉課等、関係機関とも連携し、自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援いたしました。

内訳は、安否確認が3,430件(3,566件)、生活相談が41件(42件)、緊急対応が3件(5件)でありました。

#### （7） 地域包括支援センター

平成28年度、山形市内で初の取り組みとして、圏域内で働く福祉施設等の看護師が集まり、顔見知りの関係を築く等、情報交換を実施しました。

元気もりもり教室は年2回開催し、福祉協力員さまの協力もあり108名の参加がありました。

認知症サポーター養成講座年4回の開催で、述べ88人が受講されました。

内訳は初回相談件数が190件(158件)、相談後の連絡・調整が6,001件(5,863件)、介護予防ケアプラン作成が1,147件(1,561件)、総合事業支援527人(5件)でした。